

令和 6 年度使用

小学校用教科用図書研究資料（概評）

【外国語】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点１） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 単元の構成に関しては、「Our Goal」で単元の見通しをもたせ、伝えたいことを考える「Your Plan」を設けるなど、スモールステップで学習が進められるようにすることで、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、身近なことを伝え合う学習から世界と日本とのつながりへと、徐々に表現する対象を広げて学習を進めることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 単元の構成に関しては、「単元チャート」で本課の目標を明確にし、「Let's Try」「Activity」「Story Time」などを通して、音声から文字へと4技能の活動をバランスよく設定するなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、複数の「Lesson」の間に「Let's Check」を設定し、自分の成長や課題を振り返りながら取り組むことで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 単元の構成に関しては、「Panorama」で新しい語句や表現に出会い、「Let's Listen」「Let's Speak」「Let's Read & Write」などを通して4技能の習得を図る活動を設定するなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「HOP」「STEP」「JUMP」の流れで、インプットの活動から目的に応じて発表する活動へ学習を深めるようにすることで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 単元の構成に関しては、「Goal」と「Review」で目標と振り返りを明確に示し、身近なテーマを設定した「Activity」や「Final Activity」を通してコミュニケーション力を高めるなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、他教科や道徳とも関連させた題材を取り扱い、他教科での学びと外国語を関連付けながら学習することで、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 単元の構成に関しては、「Hop!」「Step 1・2」「Jump!」で見通しをもって学習を進めたり、「Small Talk」「Plus One」「Phrase Hunt」を配置し、既習表現を繰り返し使ったりするなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「You can do it!」の活動につながるように、世界の多様な文化に触れる「世界の友達」を設定するなど、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>

61 新興出版 社啓林館	<p>(1) 単元の構成に関しては、「Activity」を随所に配置し、インプット活動とミニアウトプット活動を繰り返し設定したり、「Did you know?」で世界の文化や習慣にも触れさせたりするなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 単元の配列については、「Pre Unit」で既習事項に触れ、複数の単元末の「REVIEW」で、学んだことを活用する活動を入れるなど、教科の目標を達成できるような工夫が見られる。</p>
-----------------	---

2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「Your Turn」では、導入で扱った音声を繰り返し聞き活動から、学習した語彙や表現を使い、ペアやグループでのやり取りの活動へ段階的に学習する場を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「Your Plan」で伝えたい内容を整理し、単元の目標となる「Your Goal」に向け、「Enjoy Communication」において「Step 1」「Step 2」と段階的に言語活動を繰り返しながら内容を広げることができるような工夫が見られる。</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各単元に「GOAL」を設け、毎時間、相手意識、目的意識をもって、「Let's Try」「Activity」など、他者とのコミュニケーションを繰り返し行うことができる言語活動を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、英語を使いながら学ぶ外国語学習の展開に向け、各単元において、「Let's Try」「Activity」など、伝え合う目的や場面、状況などに応じ、ペアやグループで共に学び合い伝え合う活動を設定するなどの工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各 Lesson においては、それまでに学習した表現を復習できる活動を設定したり、既習事項を生かしてやり取りできる「Small Talk」を設定したりするなど、学びのつながりがある学習ができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各 Lesson の「Step-up」や「JUMP」では、既習事項を活用して、考えや気持ちを自分の言葉で表現できる活動を設定したり、ペアやグループで対話的に学び合う活動を設定したりするなどの工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、インプットする「Let's Listen」から、無理なくアウトプットする「Activity」につなげるなど、聞く・話す活動を中心に読む・書く活動も含めた言語活動を段階的に設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「Activity」「Final Activity」において、ペアやグループで互いに学び合う活動を、また、「Final Activity」において、「読む」「書く」「話す[やり取り・発表]」の活動を全て設定するなどの工夫が見られる。</p>

38 光村図書 出版	<p>(1) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「Hop!」「Step」「Jump!」という段階を踏んだ流れで、「Step」では、聞く活動から徐々に「話す」「書く」「読む」活動へと進めたり、既習表現の活用場面を設定したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各Unitにおいて、言語活動を行う「Let's try.」「Plus One」を設け、「Plus One」では、「Let's try.」で扱った話題を別の相手に伝えたり、既習表現を加えてさらに詳しく相手に尋ねたりするなどの工夫が見られる。</p>
61 新興出版 社啓林館	<p>(1) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、「Step 1」「Step 2」では、言語材料に慣れ親しむための語彙や表現のインプット活動と、慣れ親しんだ言語材料を使ったミニアウトプット活動を繰り返し設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、単元末の「Activity」では、目的や場面、状況に沿って思いや考えを表現し、各学期末の「REVIEW」では、既習の表現を活用し「聞く・話す」「読む・話す」など技能を統合する活動を取り入れた工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 児童にとっての分かりやすさについては、紙面全般でユニバーサルデザイン書体が使用されており、英文書体をできるだけ一筆書きになるようにしたり、小文字に配慮して4線の第2線と第3線の間の幅をやや広げて書きやすくしたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、教科書の登場人物たちの会話映像で、児童が場面や状況を確認し、言語活動に取り組むことで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 児童にとっての分かりやすさについては、見やすさと読みやすさに配慮されたユニバーサルデザイン書体が用いられており、独自に開発したフォントを使用したり、1行あたりの文字数を30字以内にしたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、語句や表現の音声やリズムを確かめるために、児童が「Song Box」や「Chant Box」を活用することで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 児童にとっての分かりやすさについては、理解に差が出ないようなユニバーサルデザインが用いられており、ねらいや活動の内容、指示文を分かりやすく明示した紙面構成にしたり、色の見え方の違いに配慮したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、やり取りや発表のイメージをつかむためのモデル動画を児童が繰り返し視聴して活用することで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 児童にとっての分かりやすさについては、英語、日本語ともに、読みやすいユニバーサルデザインフォントが使用されており、書く練習をしやすくするようにアルファベットに近い形状の書体を用いたり、4線の上下幅の比率が配慮されたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、「まなびリンク」を設け、音声や動画、ワークシートなどのデジタルコンテンツを児童が活用することで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 児童にとっての分かりやすさについては、発達の段階や教材の内容に応じた独自のフォントが取り入れられており、4線の幅に合った英語の文字や、読みやすく正しい形のユニバーサルデザイン書体による日本語文字が使用されるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、単元の導入としてネイティブのナレーターによる音声収録されており、児童がイメージをつかみやすくすることで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>

61 新興出版 社啓林館	<p>(1) 児童にとっての分かりやすさについては、日本語と英語のユニバーサルデザインフォントが使用されており、大文字と小文字の学習に適した4線幅の比率になっていたり、誰にでも必要な情報が伝わりやすい配色やシンプルなイラストに配慮されていたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) デジタル教材においては、紙面の語句などの発音を確認することができる「読み上げ」機能を児童が活用することで、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>
-----------------	--

4 地域の願いや思い、児童の実態等

(観点4) 本地区の児童の実態や課題に対応し、児童に身に付けさせたい資質・能力を育てるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 主体的にコミュニケーションを図ることについては、「Our Goal」のモデル動画や児童への問いかけで終わる「Watch and Think」の動画を視聴することで、児童のコミュニケーションへの意欲を高め、課題意識をもって言語活動に取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「Our Goal」で活動のモデルを見て見通しをもたせ、段階的に言語活動を繰り返しながら「Your Goal」において積極的に自己表現できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 主体的にコミュニケーションを図ることについては、「Let's Watch and Think 1」のアニメーション動画で言語材料に出会い、それを用いてやり取りを行う「Follow Up」が設定されていることで、児童が明確なゴールイメージをもって学習に取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「Let's Watch and Think」で活動のモデルを見て「Let's Play」で表現に慣れ親しみ、「Let's Try」「Activity」「Let's Write」において、段階的に言語活動を繰り返しながら自己表現できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
15 三省堂	<p>(1) 主体的にコミュニケーションを図ることについては、「Let's Try」の動画を視聴することで、児童がこの単元での言語材料の使用場面や状況、目指すべきゴールをイメージできるように、教室でのペア活動を取り上げるなど活動が身近に感じられるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「HOP」で会話に必要な学びの見通しをもたせ、「STEP」の Part ごとの小さなゴールを達成しながら「JUMP」で表現を高めていくことができるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 主体的にコミュニケーションを図ることについては、単元導入では「Let's Watch」の動画を視聴することで、単元で扱う言語材料に出会い、終末では「Final Activity」のモデル映像を視聴することで、児童が目指すべきゴールをイメージできるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「Let's Watch」で表現への意欲を高め、「Let's Listen」で表現に慣れ親しみ、「Activity」で活用し、「Final Activity」では5領域全ての技能を高める活動が設定され、積極的に自己表現できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>

38 光村図書 出版	<p>(1) 主体的にコミュニケーションを図ることについては、「Story」のアニメーションや「Let's write and speak」の動画を視聴することで、視覚情報をヒントとしながら、自然な文脈の中で言語材料の使用場面や状況、目指すべきゴールをイメージできるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「Story」で見通しをもたせ、「Let's Try」で扱った話題を「Plus One」でさらに詳しく相手に尋ねるなど、補足的な活動が設定されており、児童が意欲的に自己表現できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>
61 新興出版 社啓林館	<p>(1) 主体的にコミュニケーションを図ることについては、「Watch the Scene」のアニメーションや「Activity」の動画を視聴することで、児童がこの単元での言語材料の使用場面や状況、目指すべきゴールをイメージできるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 目的や場面、状況などに応じて自分の考えや気持ちを表現する力を身に付けさせるために、「Watch the Scene」で会話に必要な学びの見通しをもたせ、聞くことを重視した活動の中で多くの表現に慣れ親しんだ後、「Activity」において自由に自己表現できるような構成・配列の工夫が見られる。</p>